生命(いのち)を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

2026年 東京母親大会
足立母親大会

日時 12月13日(日) 10時～16時

会場 全体会　西新井文化ホール（足立区）

東武スカイツリーライン「西新井駅」東口徒歩3分
千代田線、日比谷線、半蔵門線からも乗り入れ



憲法9条は平和の砦 ―主権者は私たち―

全体会　ホール（900人）
10時～12時30分（9時30分受付開始）

10時　オープニング　東部うたごえの仲間たち



私たちは人情あふれる下町で活動する東部うたごえの仲間です。各地の戦争展や6・9行動など様々な場で平和のうたごえを届けています。また、JAL争議をはじめ働く者の闘いを支援しています。
うたごえ運動は「うたごえは平和の力」「うたは闘いとともに」と歩み続け、あと2年で80周年を迎えます。これからも母親運動と連帯して未来を拓くうたごえを響かせていきます。

10時20分　主催者あいさつ

10時30分　記念講演

「止めよう戦争 ―私たちは憲法改悪を許さない―」

講師　**長尾詩子**さん（弁護士・東京南部法律事務所）



プロフィール　2001年弁護士登録。中国「残留孤児」国賠訴訟他労働事件、一般民事事件を手がけている。自民党憲法改正草案をみて憲法が改悪されると危機感を感じ、地域や子育て世代にむけて憲法カフェなど取り組んでいる。一人ひとりが大事にされる平和な社会をつくるために行動している。フェミブリッジアクション事務局。

休憩

12時　運動の交流

12時20分　決議採択　閉会あいさつ　「いま わたしたちは」合唱

分科会　13時30分～16時

第1分科会　ホール（900人）

「平和への決意―未来へつなごう　沖縄・ヒロシマ・九条」

真藤順丈(じゅんじょう)さん（直木賞作家）
宮崎二美枝さん（紙芝居作家　脚本家）
会場発言・交流

真藤順丈さんから直木賞受賞作「宝島」から見えてきたことなどのお話。宮崎二美枝さんから広島の高校生が紙芝居「さだ子の祈り」を通してヒロシマを語り継ぐ運動や紙芝居文化を通し平和を広げる活動のお話。地域から、「9条の碑」を建てる運動や憲法守れの多彩な運動の経験の報告など、平和の決意を確認しあう分科会にしていきましょう。

プロフィール
1977年東京都生まれ。2008年『地図男』で第3回ダ・ヴィンチ文学賞大賞、同年『庵堂三兄弟の聖職』で第15回日本ホラー小説大賞など、同年に四つの賞を受賞してデビュー。2018年に刊行した『宝島』で第9回山田風太郎賞、第160回直木三十五賞、第5回沖縄書店大賞を受賞。著書はほかに『畦と銃』『墓頭』『しるしなきもの』『黄昏旅団』『夜の淵をひと廻り』『われらの世紀』『ものがたりの賊』など多数。最新刊は『英雄の輪』。


真藤順丈さん

プロフィール
60歳定年まで小学校教師をする中で、紙芝居創作、児童文化としての紙芝居活用の研究。退職後は「子どもを紙芝居の主体者に」をコンセプトに活動。また、各地の社会教育・子育て支援の場に出かけ、子どもと紙芝居作り・実演を楽しむ。作品は「原爆の子さだ子の願い」第60回五山賞脚本賞受賞「青い目の人形 メリーのねがい」「あんずの花につつまれて」「カルガモぴーちゃん」など多数。


宮崎二美枝さん

第2分科会

「つくってあそぼう」

講師…渡邉敬子さん（元小学校図工教員）

「はらぺこあおむし」「紙皿シアター」「くるくる金魚」「アルミムシくん」「バタバタ人形」「めん棒とばし」を作ります。色紙やダンボール、紙皿、紙コップなど身近な材料で、楽しくてあっと驚くものを作って遊びましょう。幼児から小学生まで、大人も一緒に楽しめます。

第3分科会

「生きづらさを抱えた子どもたちに寄り添って」

助言者…小池孝之さん（小学校教員）

うちの子は、こんな様子だけどこのまま小学校に上がって大丈夫なのかしら。子どものことを語り合い、子育てのヒントをみつけましょう。子どもたちが生きやすい社会とは何かを話し合いましょう。

第4分科会

「人権が守られる社会保障制度を―だれもが安心して暮らせる社会に―」

助言者…國米秀明さん
（福祉保育労東京地本副執行委員長）

医療・介護制度大幅改悪が行われ、負担増・サービス後退が心配されています。社会保障とは何なのか。どうあるべきなのかを学び、「サービスがあっても利用できない」などの声が出ない社会をみんなでつくっていきましょう。

見学分科会

第5見学分科会（定員20名）

私も一茶

案内…鈴木正美さん

小林一茶がよく訪れた炎天寺には「やせ蛙まけるな一茶是にあり」の句があります。あなたも炎天寺を訪れ一句詠みませんか？

第6見学分科会（定員20名）

千住宿、歴史と文化の一コマ

案内…狐塚(きつねづか)　健一さん

遊女投げこみ寺・金蔵寺と安藤昌益「自然真営道」ゆかりの地・慈眼寺を訪ねます。伊豆の長八「こて絵」も紹介します

第7見学分科会（定員20名）

奥の細道と解体新書

案内…児玉洋介さん

江戸は千住大橋南詰まで。松尾芭蕉はここから旅立ちました。その手前の処刑地・小塚原で杉田玄白たちが腑分けし、解体新書に挑戦したのです。

※見学分科会　申し込み11月9日(月)～11月30日(月)　ただし定員になり次第締め切ります

参加協力会員券
●1日…2,000円　●ペア券（親子・パートナー）もあります。　●大学生以下無料　当日券もあります
★保育（無料）の必要な方は、事前に東京母親大会連絡会までお申し込みください。

主催・問い合わせ　東京母親大会実行委員会　東京都千代田区二番町12-1 エデュカス東京6階　Tel 03-3230-1734　Fax 03-3230-1653　E-mail tokyohahaoya@educas.jp
参加のお申し込みは地域・団体母親大会連絡会へ
お問い合わせは東京母親大会連絡会へ